

平成 22 年度 ソバセミナー概要報告

平成 22 年 10 月 14 日 (木) 13:10~17:00 紋別市民会館にて開催

北海道は国産そば生産量の約 1/3 を占める主産地です。北海道の主力品種である「キタワセソバ」に加え、新品種「レラノカオリ」が 2010 年に登録品種になるなど、北海道農業研究センター（以下 北農研）の育成品種は北海道のソバ産業の発展に貢献してきました。また、最近注目されているダツタンソバの品種「北海 T8 号」、「北海 T9 号」、「北海 T10 号」も同センターにより育成されました。一方、ダツタンソバの栽培面積は約 200ha、自給率は約 4%ですが、国内需給の動向により、これらの数字を上げることが求められます。さらに、他の畑作物の栽培が困難な環境でも生育できること、収量性やルチン含量が普通ソバよりも高いことなどもダツタンソバの魅力となっています。ソバと共に魅力ある食材としてのダツタンソバについて理解を深めることを目的として NPO 法人グリーンテクノバンクと北農研と農林水産技術会議事務局の共催および農林水産先端技術産業振興センター (STAFF) の後援でソバセミナーを開催しました。生産団体、普及機関などから約 60 名が参加されました。折登北農研所長（グリーンテクノバンク副会長）による開会挨拶、棚橋棚橋紋別副市長の来賓挨拶の後、5 名の講師による話題提供がありました（写真 1、2）。

最後の意見交換では活発に討論が行われました。た（写真 3）。また多数の魅力ある展示物も提供して頂きました（写真 4）。以下にセミナーの概要について紹介します。



写真 1 主催者挨拶



写真 2 講演



写真 3 意見交換

1. 雄武町におけるダツタンそばの取り組み

雄武町役場 石井弘道

雄武町の人口、農業や水産等の一次産業の生産額等、現況の説明の後、これまでのダツタンソバの栽培の取り組みについて栽培面積や生産量の年次推移を交えて紹介されまし

た。また麺のみでなくコロッケや焼酎等様々な特産品の紹介もありました。雄武町には2000haの未利用の土地があり、今後の活用法が課題であると述べられました。

2. 「北海道ダッタンそばの会」最近の活動

北海道ダッタンそばの会
川端習太郎

「北海道ダッタンそばの会」の設立の経緯やこれまでの取り組みについて紹介されました。

ダッタン新そば祭りの開催や協力、オーナー事業、北海道ダッタンソバ生産協議会の設立、運営への協力について紹介されました。最後に会に所属する会員が多様であること、ダッタンソバが好きな方は誰でも入会できると入会の案内をされました。本セミナーで配布された小冊子「ダッタンソバについて」に「北海道ダッタンそばの会」とダッタンソバが詳細に書かれています（写真5）。

3. ダッタンソバの苦味の原因

北海道大学 藤野介延

ダッタンソバの苦味はルチンを分解する酵素が子実中存在し、製麺時に加水することによってルチンが分解されケルセチンが生じることによることを示されました（図）。またダッタンソバ茶が何故苦くないかは、ルチンとルチン分解酵素の細胞で存在する場所が違うことと分解酵素の熱失活によると説明されました。最後に苦くないダッタンソバの開発への期待が述べられました。

4. 東洋水産(株)におけるダッタンソバ製品の研究開発

東洋水産(株) 安田俊隆
ソバとダッタンソバの成分はルチン含量が異なる以外は大きな違いが認められなかったこと、ダッタンソバの血流改善効果、コレ



写真4 展示物

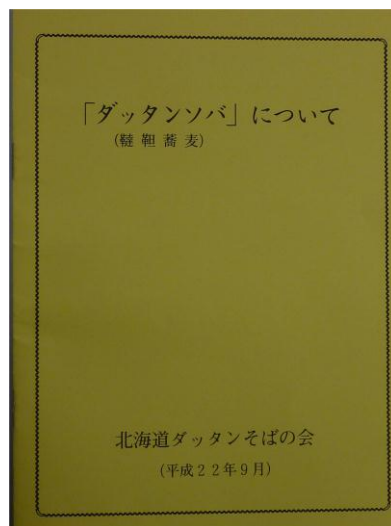
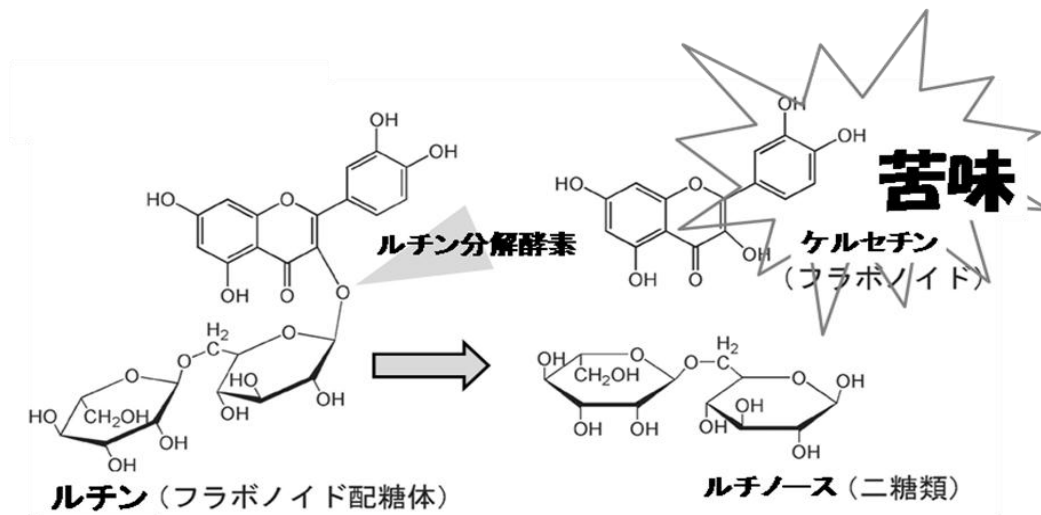


写真5 「ダッタンソバについて」小冊子

ステロールや中性脂肪の低減効果があること、アルコール存在下でアルコール存在下でルチン分解酵素を働かせると美白効果の有用物質が生成される等、ダッタンソバを利用した様々な製品開発に向けての取り組みを紹介されました。

5. ソバおよびダッタンソバの開発戦略

北海道農業研究センター 鈴木達郎
難脱粒性ソバ、風味の良いソバの開発、様々な物質のスクリーニング法の開発等、北農研のソバ育種の現状について説明しまし



藤野介延氏提供

図 ルチン分解酵素の作用

た。

意見交換では、ダッタンソバ品種が外国の遺伝資源を素材にしていることから生物多様性条約との関係、製品の分析値の表示や有機栽培表示の問題点、ダッタンソバ麺などの製品の特徴の明確化等、ダッタンソバの抱えている問題点について活発な議論がありダッタンソバの関心の高さが窺えました。

平成 16 年の立毛検討会からかぞえますとソバセミナーは今回で 7 回目となりますが、更に遡る平成 14 年に雄武町でダッタンソバの講演会が開催されております。8 年ぶりのオ

ホーツク地方のセミナーであり、今回もダッタンソバを中心としたセミナーであることから北農研がこの地域におけるダッタンソバの重要性をいかに認識しているかを示すものです。さらに今年度から北農研を中心としてダッタンソバのプロジェクトが立ち上がり、これを機会にダッタンソバの実用化を一気に推し進めようと考えているところです。最後に参加者および関係者の皆様に大変お世話頂きましたことをここに厚く御礼申し上げます。（「グリーンテック情報」V6N4）

北海道農業研究センター
寒地地域特産研究チーム 森下敏和